

気候情報

2017年3月の日本の天候

- 西日本と沖縄・奄美の気温は低かった
- 北日本の気温は高かった
- 北日本から西日本にかけての降水量は少なく、日照時間が多かった

3月の天気概況

北日本から西日本にかけては、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わったが、大陸からの高気圧に覆われる日が多く、低気圧の影響は小さかった。このため、月間日照時間は、北・東・西日本で多かった。また、月降水量は、東日本日本海側と西日本でかなり少なく、北日本と東日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美では低気圧や前線の影響で、平年と同様に曇りや雨の日が多かった。

また、西日本や沖縄・奄美では、大陸からの冷たい空気がたびたび流れ込んだため、気温の低くなる時期が多く、西日本では2011年以来6年ぶりに月平均気温が低くなった。一方、北日本では上旬を中心に北からの寒気の影響が弱く、月平均気温は高かった。

上旬：本州付近は高気圧と低気圧が交互に通過し、旬の後半は冬型の気圧配置となった。このため、全国的に天気は数日の周期で変わり、旬の後半を中心に気温が低くなったが、低気圧の影響が小さかったため、西日本を中心に降水量が少なかった。沖縄・奄美では、気圧の谷や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多く、10日は沖縄付近で前線の活動が活発となったため、八重山地方で大雨となった。

旬平均気温は、北日本で高く、東・西日本、沖縄・奄美で平年並だった。

旬降水量は、西日本ではかなり少なく、北日本、東日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美で多く、東日本日本海側で平年並だった。

旬間日照時間は、西日本日本海側で多かった。一方、沖縄・奄美で少なく、北・東日本、西日本太平洋側で平年並だった。

中旬：北日本から西日本にかけては、大陸からの高気圧に覆われて晴れた日が多く、北日本日本海側の旬間日照時間は、平年比174%で3月中旬としては旬の統計を開始した1961年以降で1975年と並んで最も多かった。本州付近では低気圧の影響が小さかったため、降水量は少なかった。一方、沖縄・奄美では、短い周期で低気圧や前線の影響を受けたため、曇りや雨の日が多かった。

旬平均気温は、全国的に平年並だった。

旬降水量は、北・西日本日本海側、東日本でかなり少なく、北・西日本太平洋側で少なかった。沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本、西日本日本海側ではかなり多く、東日本、西日本太平洋側で多かった。沖縄・

奄美では平年並だった。

下旬：日本の南海上を低気圧が数日の周期で通過し、低気圧の通過後は大陸からの冷涼な高気圧が本州付近を通過した。このため、全国的に天気は数日の周期で変わり、東・西日本、沖縄・奄美の気温は低かった。特に、25日～27日にかけては、本州の南海上を発達しながら低気圧が通過し、北からの強い寒気が流れ込んだため、東日本から沖縄・奄美にかけての広い範囲で天気が崩れた。

旬平均気温は、東・西日本、沖縄・奄美で低く、北日本で平年並だった。

旬降水量は、東日本日本海側、沖縄・奄美で少なかった。一方、東日本太平洋側で多く、北・西日本で平年並だった。

旬間日照時間は、沖縄・奄美で多かった。一方、西日本と北日本太平洋側で少なく、北日本日本海側と東日本で平年並だった。

3月の気候統計

月平均気温：西日本、沖縄・奄美で低かった。一方、北日本では高かった。東日本では平年並だった。

月降水量：東日本日本海側と西日本でかなり少なく、北日本、東日本太平洋側で少なかった。沖縄・奄美では平年並だった。

月間日照時間：北・東・西日本で多かった。沖縄・奄美では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

3月の記録（1位更新なし）

2017年3月の平年差（比）図

